

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No.

89

2026 年 7 月発行

ワタシ×ミライ・ワークショップ



6 月に中学校に進学した男子生徒の「ワタシ×ミライ・ワークショップ」を開催しました。「ワタシ×ミライ ワークショップ」は、子どもと保護者、教師、友だち、支援者など、多くの方々にご参加をいただき、将来に向けて多様な視点を出し合う集まりです。支援者寄りの意見に傾かないように、友だちやピアカウンセラーの参加を大切にしています。

当法人では、2014 年に放課後等デイサービスを開始してから、通所してくるお子さんの中で、中学校や高校に進学する生徒や、高校を卒業する生徒を対象に、ワタシ×ミライ・ワークショップを開催してきました。ワークショップの結果から、その子どもの将来に向けて、いま必要なことを計画にしていきます。子どもに何かをさせるための計画ではなく、支援者が子どものサポートに役立てるための指針としての計画だと捉えています。

教育や福祉の場では、多くの場合、子どもの苦手なことやできないことに焦点を当てて支援方針や計画が作られていると思います。身辺的な自立の程度や作業能力から職業などが決められ、そのための訓練や支援が行われている状況が多くみられます。障害をもつ子どもたちは、「何をしたいか、どうありたいか」と考える機会さえ奪われていると感じています。

障害をもつ子どもは、その年齢にあった様々な体験をしているのでしょうか？

思いを表現することの難しい子どもの思いを私たちは受け取っているのでしょうか？

子ども本人だけで選択をしたり自己決定したりすることが難しいからこそ、多くの視点でともに意思決定をしながら、計画を作り、実践し、本人の思いを受けとめて振り返るというプロセスを繰り返していくことが大切だと考えています。

このワークショップは、子ども本人が周りから大切に思われていることや、自分が生活や将来の主人公だと感じる機会になることをめざしています。そして、参加の皆さんが楽しい時間を持ち、明日へのパワーになればと思っています。

(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)

2025 年度 事業報告

2025 年度は、児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）の福祉サービス事業と、障害児者の自立に向けた支援事業、子育て・子育て支援事業、まちづくりの推進事業、社会教育事業（各種講座・セミナーの開催、人材育成等）、障害者のためのシェアハウスの開設、管理及び運営事業の独自事業を行った。

福祉サービス事業では、スタッフ会議、研修会、定期的な虐待防止委員会の開催等により、支援の質の向上を図った。7 月に運営委員会を開催し、外部委員からのアドバイスもいただいた。

福祉サービス事業以外の活動としては、子育て・子育て支援事業を中心に活動に取り組み、子どもや親子の居場所作りを行った。また、障害児者の自立に向けた支援事業は、旭区地域自立支援協議会の本会、こども部会、相談支援部会、事業所連絡会(児童)に参画し、障害のある人が安心して暮らすことができる地域社会づくりに取り組んだ。

定期的に会報を発行し、HP にも掲載し、福祉サービス事業や活動の報告を行うと同時に、地域社会への啓発を行った。

(1) 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

保護者やこども本人の立場に立ち、保護者等の意思を尊重し事業を実施した。保護者の思いや心配事を聞くことと、保護者や福祉サービス事業者からの聞き取りを行うモニタリング作成を丁寧に行った。保護者の悩みや要望を聴き、子どもの最善の利益を考えながら、福祉サービスを含めたサポートを提案した。子どもと家族の生活を大切にし、子どもが将来、自立した日常生活や社会生活を営むことができるようにと考えながら相談支援を行った。保護者のニーズを受けとめ、児童発達支援や放課後等デイサービス、保育所、幼稚園、学校などと連携し、子どもにとってより良い環境調整を行うことに努めた。不登校児の支援においても、福祉サービス事業所、教育機関等と連携しながら対応し、保護者の不安が軽減するよう努めた。

(2) 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）

スタッフ会議を定例的に開催して支援計画や活動内容についての話し合いを行い、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を開催してヒヤリハット報告や研修報告を行った。支援計画の見直しの際には、子ども本人から話を聞き、保護者との面談を丁寧に行うなどして、支援の質の向上を図った。保護者のニーズ調査のためのアンケートを行い、個別活動や設定活動の充実を図った。洲崎福祉財団の助成を受けることにより、児童生徒送迎用の車を買替えることができた。

子どもの主体性を育み自分らしく生きていくことができるようにと考えながら事業を行った。さまざまな活動やイベントに取り組み、子どもの体験を広げることができた。「遊び」と「学び」を大切にしながらこどもの主体性を育む取り組みができたと考える。大学生ボランティアを受け入れることで、こどもたちがお兄さんやお姉さんとかかわる機会を作ることができた。保護者交流会も定期的に開催し、保護者のエンパワメントをはかった。

当法人独自の「ワタシ×ミライ ワークショップ」は、小学校から中学校に進学した生徒 2 人を対象に、7 月に開催し意見を出し合った。こども自身も自分が主人公であると感じる時間になった。「こども ILP」は夏休み期間に「住」をテーマにマイカレンダーづくりを行った。

エルムおおさか主催の「ペアレントトレーニングファシリテータ養成研修」をスタッフが受講し、ペアレントトレーニングを開催するための準備を行うことができた。

また、不登校の児童生徒や通信制高校の生徒に対して、学習支援や体験を広げながらコミュニケーションの力をのばせるように個別の支援を行った。

(3) 障害児者の自立に向けた支援事業

旭区地域自立支援協議会に継続して参加し、地域の障害者福祉の推進を担う一員として活動することができた。地域自立支援協議会の本会、こども部会、相談支援部会、及び、事業所連絡会（児童）の定例会に参加して、障害児者の地域生活を支援するための活動に取り組んだ。

こども部会では、区内の小学校と区役所で開催された「就学進学なんでも相談会」の運営や保護者の相談対応を行い、旭区役所、旭区内の事業所とともに、障害児とその家族の就学や進学への不安が軽減できるよう支援した。子育て応援セミナーの開催にも協力し、先輩保護者と当事者の話を聞く機会を提供した。こども部会定例会では、福祉と教育と医療の連携について意見交換やグループディスカッションに参加した。

相談部会では、定例会で他事業所との連携や事例検討、研修などに参加した。事業所連絡会（児童）では、各事業所との情報共有やイベントに向けての話し合いを行った。

(4) 子育て・子育て支援事業

「旭区子育て安心ネットワーク」の定例会（事務局：旭区役所）や、「あさひの輪」の定例会（事務局：旭区社会福祉協議会）に継続して参加し、区内の子育て関連施設と子育て支援の充実に向けて話し合うことができた。「清水地域子育てボランティアグループ」の定例会に参画し、地域に密着した子育て支援に取り組むことができた。「旭区子育て安心ネットワーク」の定例会において、「清水地域子育てボランティアグループ」の小地域活動の取り組みの様子を発表した。

大阪市の「ブックスタート」事業を2か月に1回開催し、法人独自の「おやこ ひろば ほうぶ」を年3回開催して、乳幼児とその保護者が地域とつながる場を提供することができた。

また、毎月第3金曜日に「ほうぶよるカフェ」を開催し、思春期の子どもの居場所の活動に取り組んだ。

(5) まちづくりの推進事業

清水地区地域活動協議会に参加し、地域福祉部会と防災部会の担当をした。地域福祉部会において、「異世代交流事業」の音楽会の開催に協力し、地域住民の交流の機会をつくった。また、「清水フェスティバル」に参画し、地域との連携を深めることができた。地域に密着した活動には例年通りに取り組むことができたが、旭区地域福祉計画「あさひ つながるプラン」に基づいた取り組みをすすめることはできなかった。

(6) 社会教育事業（各種講座・セミナーの開催、人材育成等）

福祉サービス事業所で、当法人の職員が講師として研修を行った。

(7) 障害者のためのシェアハウスの開設、管理及び運営事業

事務所2階のシェアハウスで生活する4名の入居者が交流しながら自分らしく生活できるような環境づくりに努めた。

2025年度 活動計算書
自令和7年4月1日 至令和8年3月31日

特定非営利活動法人 地域生活サポートネット ほうぶ

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	50,000		
賛助会員受取会費	145,000		
会費収益合計		195,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	70,000		
受取寄付金		70,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	2,090,000		
受取助成金合計		2,090,000	
4. 事業収益			
障害児相談支援事業収益			
障害児相談支援給付費	3,208,281		
障害児通所支援事業収益			
障害児通所給付費	25,946,068		
障害児通所自己負担料	1,009,259		
実費負担分(創作材料)	186,854		
障害児者の自立に向けた支援事業	28,275		
子育て・子育て支援事業収益	0		
社会教育事業収益	10,000		
障害者のためのシェアハウス運営事業			
家賃	1,640,000		
管理費	242,000		
食費	218,650		
事業収益合計		32,489,387	
5. その他収益			
受取利息	3,678		
雑収益	403,368		
その他収益合計		407,046	
経常収益合計			35,251,433
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給与手当	18,992,552		
賞与手当	3,064,996		
法定福利費	2,543,339		
通勤費	659,870		
福利厚生費	122,654		
人件費計	25,383,411		
(2)その他経費			
創作材料費	447,679		
諸謝金	0		
旅費交通費	42,750		
車両費	53,228		
通信費	211,114		
消耗品費	494,161		
修繕費	106,700		
水道光熱費	269,313		
地代家賃	960,000		
行事費	13,195		
新聞図書費	10,340		
減価償却費	1,916,752		
リース料	216,480		
保険料	386,850		
租税公課	25,200		
研修費	61,000		
雑費	153,240		
その他経費計	5,368,002		
事業費合計		30,751,413	

2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
旅費交通費	1,020		
通信費	50,515		
消耗品費	115,827		
広告宣伝費	200,200		
交際費	25,978		
減価償却費	388,875		
保険料	117,230		
租税公課	168,700		
支払手数料	693,000		
支払利息	322,467		
雑費	182,561		
その他経費計	2,266,373		
管理費合計		2,266,373	
経常費用計			33,017,786
Ⅲ 経常外収益			
固定資産売却益		27,999	
経常外収益計			27,999
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			2,261,646
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			2,191,646
前期繰越正味財産額			5,524,185
次期繰越正味財産額			7,715,831

放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

新年度が始まり、4月は、桜餅を作ったり、自転車の交通ルールを学んだりしました。5月は、イベント盛りだくさんでした。5月2日には、少し遠出をして、守口市の大枝公園まで遠足に行きました。暑い日でしたが、みんなよく歩きました。遊具で遊んだり、休憩時間にアイスを食べたり、楽しい遠足になりました。5月9日には BBQ 交流会をしました。交流会は次ページで紹介します。5月23日には天満橋でクルージングを体験しました。風を感じて気持ち良かった子、船の上でウトウト昼寝をしていた子、楽しい体験ができました。ほうぷの菜園でイチゴ摘みをしたり、こいのぼりやブーメランの工作をしたりしました。グループワークは「ほうぷラジオ」をして、皆で投稿したり「いいね」したりして楽しみました。6月は、サーキットで体を動かしたり、暑くなってきたのでシャボン玉や色水遊びなどをしたりしました。カフェほうぷに向けて、コースターやエコバック作りをして雑貨販売の準備をしました。ところが、6月末に台風がやってきて、楽しみにしていた「カフェほうぷ」は中止にしました。せっかく準備をしていたので、おやつタイムに、子どもたちがお客さんとお店屋さんになって、カフェごっこをしました。

子どもたちは本当に元気です。落ち着きがなかったり、チクチク言葉を連発したりする子がいます。宿題に四苦八苦している子が多くいます。6月には、スタッフの質の向上のため、エルム大阪の方に来ていただき、ケースに対するアドバイスを受けました。また、大学の先生に来ていただき、「アンガーマネジメント」の研修会もしました。

どこもかしこも人手不足のようですが、当放デイもご多分にもれず大変な状況です。そんな中、夏休みがやってきます。スタッフが相談しながら夏休みプログラムを作りました。プログラムの目標の1つは「いろんな人がいること、命が大切だということを少しでも伝えたい」です。



みんなでバーベキュー

5月9日(土) 11:00~15:00

参加者：子ども12名 ご家族：9名 ボランティア：2名

一昨年、ほうぶを会場にして BBQ を開催したら、近隣より煙の苦情があったので、昨年はお茶会で交流会をしましたが、保護者の皆さんと一緒に BBQ したいと思い続けてきました。今年は、淀川河川敷で BBQ ができました。朝早くから場所取りをしたり、車で機材を運んだり、準備が大変でしたが、お向かいの天理教のお父さんが大活躍をしてくださり、開催することができました。保護者の方も早くから準備を手伝ってくださいました。本当に皆さんに助けをいただいていた感謝の気持ちでいっぱいです。

気持ちの良い青空のもと、ご家族と一緒に食べていらしたり、保護者同士がご挨拶をされたりおしゃべりをしたりして交流されていました。子どもたちは、広い河川敷で走り回ったりおいしいお肉を食べたり、楽しい時間になりました。



●法人内の活動報告●

- 5月 1日(金) 放デイの施設研究をされている先生方と打ち合わせ
- 5月 7日(木) 職員研修(WING路をはこぶ)
- 5月15日(金) ほうぶよるカフェ(ほうぶ)
- 6月 1日(月) ワタシ×ミライ・ワークショップ(ほうぶ)
- 6月14日(日) NPO法人地域生活サポートネットほうぶ総会(ほうぶ)
- 6月16日(火) アンガーマネジメント研修会 講師:高井裕二氏(ほうぶ)
- 6月18日(木) ケース検討 講師:エルムおおさか(ほうぶ)
- 6月19日(金) ほうぶよるカフェ(ほうぶ)

7月末に「好きな
場所調査」のワー
クショップを予定
しています



●地域活動等報告●

- 5月 2日(土) 認知症家族の会定例会(ほうぶ)
- 5月 7日(木) 障害者デイサービスの新入職員研修会講師(WING路をはこぶ)
- 5月12日(火) ブックスタート(ほうぶ) 参加者2組
- 5月20日(水) 清水地域子育て支援ネットワーク会議定例会(清水小学校)
地域自立支援協議会本会定例会(旭区民センター)
地域自立支援協議会総会(旭区民センター)
- 5月21日(木) 人権推進委員会定例会(旭区役所)
- 5月25日(月) 清水地域活動協議会総会(清水小学校)
- 6月 2日(火) 就学進学なんでも相談会(高殿小学校)
- 6月 5日(金) 旭区子育て支援「あさひの輪」定例会(旭区社協)
- 6月 7日(日) おやこひろばほうぶ(ほうぶ) 参加者1組
- 6月10日(水) 就学進学なんでも相談会(高殿南小学校)
- 6月15日(月) 就学進学なんでも相談会(清水小学校)
- 6月21日(日) 子ども情報研究センター総会(子ども情報研修センター)
- 6月23日(火) 就学進学なんでも相談会(古市小学校)
- 6月24日(水) 地域自立支援協議会事業所連絡会【児童】定例会(旭区役所)
- 6月29日(月) 地域自立支援協議会こども部会定例会(旭区役所)
清水地域活動協議会福祉部会定例会(ほうぶ)



「新版 子ども家庭福祉論」(八千代出版・2026.3.31 発行 P131)に
ほうぶの2024年度事業報告(抜粋)が掲載されました。

5月に、娘が役者をしている劇団「態変」の韓国公演で、1週間ほどソウルに行ってきました。招待公演ということもあってか、連日、満席で、会場のMODU ART THEATERは盛り上がりました。異なる文化に触れてきました。

異常気象の影響か、季節外れの台風が来て、地震も頻発していて、なんだか不安な気持ちになります。みなさん、少しでも安心できるようつながりあって
過ごしましょう(む)

